

# 第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 岩手県大会 実 施 要 項

- 1 目 的 (公社)岩手県サッカー協会は岩手県内における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、高等学校のチームすべてが参加できる大会として実施する。  
また、本大会の優勝チームが全国大会への参加資格を得る。
- 2 主 催 (公社)岩手県サッカー協会
- 3 共 催 岩手県高等学校体育連盟
- 4 主 管 (公社)岩手県サッカー協会女子委員会
- 5 期 日 令和6年10月20日(日) 総当たりリーグ方式  
令和6年11月4日(月) 決勝戦
- 6 会 場 花巻市スポーツキャンプむらBピッチ、Mピッチ
- 7 参加資格
  - (1) (公財)日本サッカー協会に女子登録した加盟チームであり、かつ都道府県高等学校体育連盟に加盟した高等学校の単独、もしくは合同チームであること。  
尚、本大会におけるチーム名は学校名とする。
  - (2) 岩手県大会においては、女子サッカーの普及振興のため、合同チームでの参加を認めるものとする。
  - (3) 上記(1)のチームに大会参加申込締切日(2024年9月2日)までに登録された高等学校の生徒の女子選手であること。
  - (4) 外国籍選手：4名まで登録でき、1試合2名まで出場できる。
  - (5) 予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加申込することはできない。
  - (6) 統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる混成は認める。
  - (7) ア 転校後6か月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)  
ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都道府県体育連盟会長の許可があればこの限りでない。  
イ 転校を伴わなくても、高体連加盟以外のチームから高体連加盟チームへ移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規程イの適用は当該年度内に限るものとする。
  - (8) 優勝チームは第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会全国大会に参加すること。
- 8 競技方法
  - (1) 総当たりリーグ方式(専修大学北上高校を除く、花北青雲高校、水沢高校、不来方高校による総当たりリーグ方式)を実施し、総当たりリーグ方式で1位となったチームが、専修大学北上高校との決勝戦を行う。
  - (2) 大会日程は1日目に総当たりリーグ方式の試合を全て消化し、2日目に決勝戦を行う。決勝戦の試合時間は14時15分開始とする。
  - (3) 総当たりリーグ方式の試合順番は、今年度の高校総体の成績を考慮し以下の通りとする。

第一試合	不来方高校	対	花北青雲高校	9時開始
第二試合	花北青雲高校	対	水沢高校	11時30分開始
第三試合	水沢高校	対	不来方高校	14時開始

総当たりリーグ方式の順位決定方法は以下の方式で順位を決定する。

ア 勝ち点合計の多いチーム。勝ち点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。

イ 当該チーム間の得失点差

ウ 当該チーム間の総得点数

エ 反則ポイントの合計が少ないチーム

(ア)警告1回1ポイント

(イ)警告2回による退場1回3ポイント

(ウ)退場1回3ポイント

(エ)警告1回に続く退場1回4ポイント

(4) 試合時間：70分（前・後半35分）

(5) ハーフタイムのインターバル：原則として10分（前半終了から後半開始まで）

(6) 決勝における勝者を決定する方法（前記(2)記載の時間内で勝敗が決しない場合）

ア 20分（前・後半10分）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

イ 延長戦に入る前のインターバル：5分

ウ PK方式に入る前のインターバル：1分

## 9 競技会規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については本大会規定を定める。

(1) 大会参加申込した最大30名の選手のうち、各試合の登録選手は最大18名とする。

(2) 交代できる人数は、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から5名までとする。（自由な交代は適用されない。）

※後半の交代回数は各チーム3回までとする。前半、ハーフタイムに入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。

※ただし、脳震盪による交代については交代回数・人数にカウントしないこととする（判断は主審の判断とする）。

(3) ベンチ入りできる人数は最大13名（交代要員7名、役員6名）とする。

(4) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。

(5) 本大会期間中に異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

(6) 全国大会の予選は、懲罰規定上の同一大会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

(7) テクニカルエリア：設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。但し通訳を必要とする場合は2名までとする。

(8) アディショナルタイムの表示：全試合実施する。

(9) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員数：2名以内

(10) 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

(11) ベンチサイド：総当たりリーグ方式では、上記対戦チームの左側の高校がピッチに向かってが左側のベンチとする。決勝戦は、専修大学北上高校がベンチの左側とする。

## 10 参加申込

- (1) 参加申込し得る人員は、各チーム役員 6 名・選手 30 名を最大とする。
- (2) 案内メールに添付した参加申込書に入力後、メールにて下記担当者まで送信すること。なお、ファイル内の別シートにメンバー用紙があるので、試合当日はそれをプリントアウトして使用すること。
- (3) 申込締切日：2024 年 9 月 2 日(月) 17:00
- (4) 申込先：ptf5-iwabuchi-tosiaki@iwate-ed.jp
- (5) 担当者：水沢高等学校 岩渕 利明 TEL 0197-24-3152 (職員室)

## 11 参加料 12,000 円 (大会当日徴収)

## 12 ユニフォーム

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

- (1) ユニフォーム (シャツ・ショーツ・ソックス) については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行すること (FP・GK 用とも)。本協会に登録されたものを原則とする。
- (2) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- (3) ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (4) ユニフォームへの広告表示については認めない。

## 13 表彰 優勝、準優勝チームに表彰状を授与する。優勝チームには優勝旗を授与する。

## 14 メンバー用紙の提出及びユニフォームのチェック

- (1) メンバー用紙は、参加申込書と同じファイル内に別シートで準備しているので、それを使用すること。試合開始 60 分前までに先発メンバー 11 名に○印、交代要員 7 名に△印を記入し、本部に 2 部提出する。
- (2) ユニフォームは両チームの話し合いであらかじめ決めておくこと。決まらない場合は、60 分前に当該審判員立ち会いのもと本部席においてトスにより決定する。

## 15 補助員・本部記録 水沢高校

## 16 帯同審判 各チームとも帯同審判の協力をすること。

## 17 選手証 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証を持参すること。

ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

## 18 その他

- (1) 各チーム初戦時のみ、選手証を確認するので、試合開始 60 分前までにメンバー表とともに本部に提出のこと。
- (2) 試合中の負傷、あるいは事故の処置は当該チームで責任を持って対応すること。
- (3) 参加チームの選手はスポーツ傷害保険に加入していることが望ましい。
- (4) 優勝、準優勝、総当たりリーグ方式の 2 位チームは、第 59 回岩手県高等学校新人サッカー大会 (女子) のシード権を得る。
- (5) 代表者会議は行わない。
- (6) 試合球は各校の持ち寄りで、モルテン社製・ヴァンタッジオ 4900 (F5N4900) とする。